隔週金曜掲載

和歌山を創る新聞 わかつく

Vol.370
2025.9.5

認定特定非営利活動法人
わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223　FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp　URL https://wnc.jp/
編集　志場 久起

和歌山を創る新聞「わかつく」を読む会をしませんか

https://wnc.jp/works/wakatsuku

和歌山を創る新聞「わかつく」編集担当者が記事について説明するする勉強会などのご希望を承ります。わかやま NPO センターまでお気軽にお問い合わせください。

「孤独死」の現状を探る

今年 4 月、警察庁が初めて孤独死に関する統計を発表し、大きな話題を呼びました。平均世帯人数が年々減少の一歩をたどり、和歌山県内でも独居世帯が増え続けているなか、孤独死は身近に起こりうる現象となっています。その内訳を探りました。

表の見方

右の表は、警察庁と厚生労働省が発表した「死亡」に関する統計を合わせたものです。

死亡者数は、厚生労働省の人口動態統計による、昨年1年間で亡くなられた方の総数を指します。

警察取扱者数とは警察が関わった死亡者の人数です。このうち、自宅で一人暮らしだった方の数を「孤独死の人数」欄に、このうち65歳以上の方を「65歳以上孤独死人数」欄に、そして割合を算出して付記しています。

また孤独死のなかには自死が含まれることがあるため、自死と判断された方の人数と、人口10万人当たり自殺率を示す自殺率を人口動態統計から抜粋。死亡者総数に占める自死の方の割合を算出しています。

21人に1人が孤独死

孤独死の人数は全国で約7・6万人で、警察が関わる死者数の4割弱にのぼります。人口集積地で高くなる傾向がみられます。

一方、65歳以上の孤独死の人数は約5・8万人と、孤独死の4人に3人が高齢者という計算。高齢化が影響していることが想像できます。

そして昨年は総死亡者数に占める孤独死者数の割合が全国平均で4・74%と、国内で亡くなる方の約21人に1人が孤独死していることになります。

死亡者総数に占める孤独死割合も、人口が集中している地域で高めであることがうかがえます。周囲とのつながりが薄い方が少なくないと想像され、それが影響している可能性が考えられます。

なお、高齢者の孤独死割合が8割を超えている県の多くは山がちで過疎地域を多く抱えているとみられ、人口希薄地域において、高齢者の孤独死が多い傾向がうかがえます。

自死とは明確な相関なし？

昨年1年間で自死された方は2万人弱で、総死亡者総数に占める割合は1%あまりとなっています。これも人口集積地域で比較的高めとなっているようにみえますが、そこまで大きな地域差があるわけではなさそうです。10万人当たりの自死者数を示す自殺率は東日本で比較的高い傾向がありますが、西日本でも率が高い県が点在しており、地域差があるとはいいづらくなっています。

自死に関する統計上の数値には大きな地域差がみられず、孤独死の動向とも相関はないと考えられます。

みえてくる課題

和歌山県内では昨年1年で652人、1日平均約1・78人が誰にも看取られることなく亡くなられている計算になります。そう考えると、「孤独死」はどこか遠い話ではなく、身近で起こりうる話と考えられます。

また、孤独死の4人に3人が高齢者ではありますが、逆にいえば4人に1人は現役世代の方です。これも決して無視できません。

各種報道などでも取り上げられていますが、孤独死は発見されるまで日数を要することがあり、周辺環境に影響を及ぼすこともあります。賃貸物件などで発生した場合は原状回復費用が高額になるなど、親族や家主などに大きな負担をかけることも。単に人が亡くなるだけではない、経済的・社会的な影響も無視できません。

「多死」社会を前に

昨年1年間に全国で亡くなられた方は約160万人、和歌山県では1万5千人弱にのぼります。出生数は全国で70万人を下回り、和歌山県でも5千人を下回っています。

出生数から死亡数を差し引いた自然増減は全国でマイナス90万人、和歌山県でマイナス1万あまりにのぼり、人口減少のスピードが加速しています。

いま、世代別人口が最も多い団塊の世代が75歳以上の「後期高齢者」となっていますが、現在の日本の平均寿命などを考慮すると、この先しばらくは亡くなられる方の増加は避けられない情勢です。

これまでにない多さの方が亡くなる「多死社会」を前に、人口密集地では「火葬の順番待ち」を余儀なくされるという事態も出てきています。また、孤独死される方も当面は増加する恐れも。

人が亡くなるということはできれば避けたい事柄ではありますが、生きている限りは亡くなる時は必ずやってきます。

最近は和歌山市周辺でも終活について考える取り組みがみられるようになっています。「エンディングノート」を準備したり、もしものときのための取り決めをしたり、といった方も増えているとは思いますが、これからますます独居の方が増えると予測されるなか、地域でもなにか取り決めをするのもいいかもしれませんね。

（志場久起）

出典：警察庁ウェブサイト　https://www.npa.go.jp/publications/statistics/shitai/shitaitoukei.html
厚生労働省人口動態統計月報年計（概数）https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai24/
取扱数は都道府県警察が取り扱った死体数。自宅での孤独死者数は、自宅で死亡が確認された独居の方の人数。人口動態は「確報」ではないため、今後データの精査の結果、数字が変わりうるので注意。

亡くなられた方の人数と、孤独死・自死の方の人数・割合（2024 年）

	死亡者数	うち警察取扱者数	孤独死の人数	警察取扱数に占める割合	65 歳以上孤独死人数	孤独死に占める割合	死亡者数に占める孤独死割合	自死者数	死亡者数に占める自死割合	10 万人当たり自死者数
北海道	76,663	9,522	3,411	35.82%	2,641	77.43%	4.45%	920	1.20%	18.50
青森	20,511	2,345	749	31.94%	579	77.30%	3.65%	219	1.07%	18.90
岩手	19,677	2,139	686	32.07%	527	76.82%	3.49%	253	1.29%	22.30
宮城	29,004	3,674	1,169	31.82%	854	73.05%	4.03%	379	1.31%	17.10
秋田	17,421	1,495	531	35.52%	427	80.41%	3.05%	178	1.02%	20.00
山形	16,889	1,633	422	25.84%	328	77.73%	2.50%	156	0.92%	15.60
福島	27,337	3,243	937	28.89%	703	75.03%	3.43%	337	1.23%	19.50
茨城	38,942	5,254	1,424	27.10%	1,069	75.07%	3.66%	451	1.16%	16.60
栃木	25,557	3,594	895	24.90%	672	75.08%	3.50%	303	1.19%	16.60
群馬	27,251	3,322	1,067	32.12%	817	76.57%	3.92%	338	1.24%	18.70
埼玉	86,365	12,319	4,490	36.45%	3,319	73.92%	5.20%	1,191	1.38%	16.80
千葉	75,057	11,389	4,153	36.47%	3,028	72.91%	5.53%	927	1.24%	15.30
東京	140,273	25,667	10,372	40.41%	7,699	74.23%	7.39%	1,966	1.40%	14.60
神奈川	102,078	14,666	4,968	33.87%	3,659	73.65%	4.87%	1,322	1.30%	14.80
新潟	33,059	3,402	1,022	30.04%	810	79.26%	3.09%	426	1.29%	20.50
山梨	11,206	1,326	489	36.88%	380	77.71%	4.36%	131	1.17%	17.00
長野	28,906	3,040	985	32.40%	799	81.12%	3.41%	334	1.16%	17.20
静岡	49,100	4,896	1,653	33.76%	1,313	79.43%	3.37%	527	1.07%	15.50
富山	15,183	1,609	453	28.15%	361	79.69%	2.98%	146	0.96%	15.00
石川	15,032	1,737	512	29.48%	411	80.27%	3.41%	140	0.93%	13.00
福井	10,509	1,297	305	23.52%	236	77.38%	2.90%	103	0.98%	14.30
岐阜	26,932	2,451	857	34.97%	690	80.51%	3.18%	309	1.15%	16.70
愛知	82,609	9,319	4,545	48.77%	3,411	75.05%	5.50%	1,120	1.36%	15.60
三重	24,003	2,892	1,038	35.89%	806	77.65%	4.32%	253	1.05%	15.30
滋賀	15,523	1,911	601	31.45%	450	74.88%	3.87%	217	1.40%	16.00
京都	31,237	3,470	1,466	42.25%	1,125	76.74%	4.69%	342	1.09%	14.00
大阪	108,534	17,449	6,983	40.02%	5,329	76.31%	6.43%	1,472	1.36%	17.40
兵庫	67,954	7,753	3,256	42.00%	2,557	78.53%	4.79%	811	1.19%	15.60
奈良	17,379	2,317	759	32.76%	618	81.42%	4.37%	180	1.04%	14.20
和歌山	14,585	1,713	652	38.06%	529	81.13%	4.47%	140	0.96%	16.10
鳥取	8,032	1,041	291	27.95%	230	79.04%	3.62%	76	0.95%	14.50
島根	10,440	1,034	305	29.50%	248	81.31%	2.92%	103	0.99%	16.30
岡山	25,573	3,008	999	33.21%	791	79.18%	3.91%	272	1.06%	15.20
広島	35,599	3,631	1,561	42.99%	1,239	79.37%	4.38%	436	1.22%	16.40
山口	21,270	2,405	1,187	49.36%	948	79.87%	5.58%	239	1.12%	19.00
徳島	11,331	1,144	461	40.30%	376	81.56%	4.07%	125	1.10%	18.40
香川	13,778	1,784	671	37.61%	548	81.67%	4.87%	152	1.10%	16.90
愛媛	20,392	2,282	807	35.36%	651	80.67%	3.96%	214	1.05%	17.00
高知	11,439	1,277	519	40.64%	430	82.85%	4.54%	126	1.10%	19.40
福岡	62,945	6,668	3,352	50.27%	2,496	74.46%	5.33%	813	1.29%	16.30
佐賀	11,381	1,172	349	29.78%	272	77.94%	3.07%	94	0.83%	12.10
長崎	19,969	1,848	771	41.72%	641	83.14%	3.86%	172	0.86%	13.90
熊本	24,659	2,390	791	33.10%	598	75.60%	3.21%	254	1.03%	15.20
大分	16,788	1,534	556	36.25%	436	78.42%	3.31%	172	1.02%	16.10
宮崎	16,445	1,633	686	42.01%	552	80.47%	4.17%	187	1.14%	18.30
鹿児島	24,422	2,259	1,039	45.99%	831	79.98%	4.25%	259	1.06%	17.10
沖縄	15,458	2,230	825	37.00%	610	73.94%	5.34%	255	1.65%	17.70
全国	**1,604,697**	**204,184**	**76,020**	**37.23%**	**58,044**	**76.35%**	**4.74%**	**19,594**	**1.22%**	**16.30**

災害被災地支援講座

9 月 13 日（土）14:00 ～ 16:00　和歌山ビッグ愛 9 階会議室 C・ZOOM オンライン

参加費　無料（事前申込必要）※興味・関心のある方であればどなたでもご参加いただけます。

2024 年 1 月に発生した能登半島地震では、半島かつ過疎が進行している地域で深刻な被害が発生し、さらに秋の局地的豪雨も重なり、極めて困難な救援・復旧・復興活動を強いられています。能登半島の被災地での経験を学ぶことは、同じ半島で過疎地域を多く抱える和歌山県にとっても非常に有効であると考えられます。長期間能登半島での救援・復旧事業に従事されている講師をお招きし、和歌山でもし同様の災害が発生した時になにが想定され、どういう備えが必要なのかをともに考えます。

講師　前原 土武（まえはら・とむ）さん〔災害 NGO 結 代表〕

能登半島地震の発生直後から継続して被災地支援に従事。全国の大規模災害被災地のほか、2011 年紀伊半島大水害や 2023 年線状降水帯による大雨災害でも和歌山入りされており、和歌山とも縁が深い方です。

主催　和歌山県 NPO サポートセンターほか
申込はこちらの QR コードからどうぞ